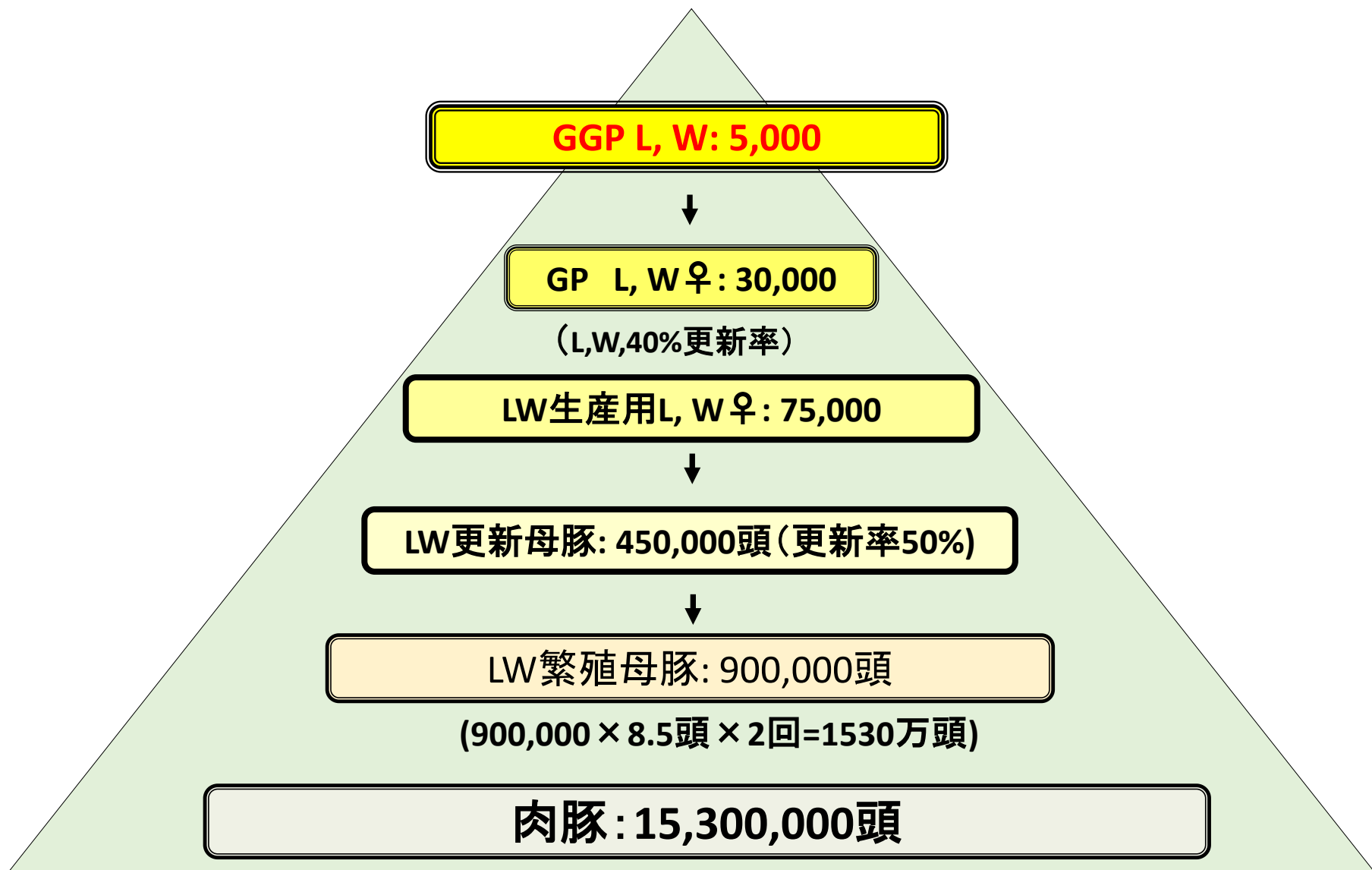


我が国の肉豚生産のための純粋種必要頭数試算

- 現在、約1,530万頭の肉豚が生産されているが、肉豚生産の基礎となるのがランドレース種、大ヨークシャー種、デュロック種、バークシャー種などの純粋種である。
- 1,530万頭の肉豚生産のためには、一腹からの出荷頭数を8.5頭、年間分娩回転を2回と考えると、約90万頭の肉豚生産母豚(LW交雑豚、バークシャー種純粋種など)が必要となる。
- 毎年の更新率を50%と想定すると、45万頭の更新豚を供給する必要がある。そのためには一腹から3頭で年2回生産すると仮定すると約75,000頭のランドレース種あるいは大ヨークシャー種の雌豚群が必要となる。
- これが40%の更新率と考えるとGPセンターで30,000の増殖が必要であり、さらにこれを供給するGGPセンターではランドレース種、大ヨークシャー種合わせて5,000頭が必要頭数となる。
- 実際には、海外からの高繁殖能力母豚が高い割合で利用されていると考えられるので、海外からの繁殖母豚に依存しないで1,530万頭の半分(765万頭)の肉豚を生産するためには、ランドレース種、大ヨークシャー種など合わせて約2,500頭の純粋種集団が雌系品種の繁殖能力や産肉能力が育種改良の対象となる。

東北大学名誉教授
鈴木啓一 試算

我が国の肉豚生産のための純粋種必要頭数試算



肉豚生産頭数1530万頭を達成するための交雑雌豚、純粋雌豚頭数

我が国の肉豚生産のための純粋種必要頭数試算

GGP 原種	L、W♀ 5,000	育成雌/腹	分娩回数	30,000
		3	2	

GP 増殖	L、W♀ 30,000 (LW40%更新供給)
----------	-------------------------------

	更新供給雌	育成雌/腹	分娩回数	LW更新豚/年
LW生産用	L、W 75,000	3	2	450,000

LW更新豚/年 450,000 (50%供給)

LWD肉豚生産	LW 繁殖母豚 900,000	出荷頭数/腹	分娩回数	15,300,000
		8.5	2	

肉豚生産頭数1530万頭を達成するための交雑雌豚、純粋雌豚頭数

肉豚生産(765万頭)の純粋種必要頭数試算

GGP 原種	L、W♀ 2,500	育成雌/腹 3	分娩回数 2	15,000
-----------	---------------	------------	-----------	--------

GP 増殖	L、W♀ 15,000 (LW40%更新供給)
----------	-------------------------------

LW生産用	更新供給雌 L、W 37,500	育成雌/腹 3	分娩回数 2	LW更新豚/年 225,000
-------	------------------------	------------	-----------	--------------------

LW更新豚/年 225,000 (50%供給)

LWD肉豚生産	LW 繁殖母豚 450,000	出荷頭数/腹 8.5	分娩回数 2	7,650,000
---------	-----------------------	---------------	-----------	-----------

交配をAIと仮定すると、D種の必要頭数は？

- 1頭当たり1回で10本分の採精(2回の種付けで5頭分)
- 週に1回の採精で年間50週とすると、1頭の雄豚からの精液で年間250頭の雌豚の交配が可能
- 90万頭の雌豚交配には3,600頭の雄豚が必要 (90万÷250=3,600)